令和5年度 夏のボランティア体験月間

今年度も福祉施設や児童施設など20施設のご協力のもと「夏のボランティア体験月間」を実施することができました。「学校では学べないことを経験しておきたい。」「昨年体験してとても楽しかった。」などの思いを持った市内の高校生を中心に 53 名の方からボランティア希望をいただき活動につなぐことができました。実際に参加した方からは「相手の気持ちを考えながら行動することの大切さを知った。」「将来進む道が見えてきた。」といった声も聞かれ、活動の意義を感じた体験月間となりました。ボランティア希望者のチャレンジを快く受け入れサポートしてくれた施設の皆さんの協力あっての事と感謝いたします。来年度も「夏のボランティア体験月間」を行う予定です。今年度参加できなかった方も、来年チャレンジしてみてください!

令和5年度ブロック別連絡会

令和5年7月27日(木)に大分県ボランティア連絡協議会&おおいた子ども食堂ネットワ ーク主催の「令和5年度ブロック別連絡会」がウサノピア小ホールで行われました。Mottoひょうご事務局長の栗木剛さんを講師にお迎えし、「くらしのなかの“貧困”をアレコレ考える」をテーマにこれからの活動をグループで話し合いました。地域の様々な人が集い、誰もが健康で生きがいを持って暮らせる地域共生社会の実現に向け「地域ぐるみの支え合いの輪」が広がっていくことを願います。

宇佐市成年後見支援センターの取り組みを一部紹介します。

認知症支援対応講座を実施しました

8月22日（火）九州労金宇高支店にて、認知症支援対応講座を実施しました。本講座は、判断能力が低下した方への接遇等について、寸劇に認知症支援推進員の解説を加えながら実施しました。11名の行員の方に参加して頂きました。

ケース検討・受任調整会議

センターでは、ケース検討・受任調整会議を、毎月1回開催しています。この会議では各専門職が、成年後見制度の申し立てから、成年後見人の選任までアドバイスを行います。また、権利擁護に関する相談まで幅広く対応しております。相談がある時は、事前にセンターに連絡してください。

市民後見人養成講座

センターでは、年に1回（全5回の日程）、市民後見人養成講座を開催しています。この講座は地域福祉の観点から市民の方が後見業務の新たな担い手として活動できる体制づくりを行うものになります。また、成年後見制度の基礎的な知識を学ぶ機会として活用して頂いております。

法律・福祉のよろず相談会

センターでは、年に2回、法律・福祉のよろず相談会を開催しております。この相談会は、弁護士、社会福祉士の専門職が、成年後見制度の相談はもちろんのこと、権利擁護全般の相談を個別で行います。1組30分、無料で相談を受けることができます。

成年後見制度について相談したいときは、センターに気軽にご相談下さい。

渡辺

和氣

せいねんこうけんせいど

成年後見制度ってなぁ～に？

成年後見制度は、認知症・知的障がい・精神障がいなどで
ひとりで決めることに 不安や心配のある人が
いろいろな契約や手続きをする時にお手伝いする制度です。

お金の管理や支払いに不安を感じてる

今後のために成年後見制度を知っておきたい

認知症があり、契約が難しい

成年後見制度について知りたい・相談したい時は、宇佐市成年後見支援センターを活用して下さい。

連絡先：0978-33-0725

安心院支所

安心院児童館 「戦争と平和」未来へ語り継ぐために

8月10日、安心院児童館に、教育委員会社会教育課の方に来館していただき、「宇佐海軍航空隊の歴史について」のお話をして頂きました。各小学校でも、6日・9日の広島・長崎の原爆記念日に平和授業を行っていますが、児童館では、もっと身近に自分たちの暮らす地域でおきた事を知ってほしいと企画しました。宇佐市に飛行訓練の学校として設立された施設があった事、学校が戦うための練習場にな った事（桜花に乗るため）、沢山の未来ある若者が飛び立って行った事、空襲に遭いたくさんの家や人が焼かれたこと、桜花を設計した三木忠直氏が平和のために新幹線の設計をした事などを話してもらいました。

また、軍帽や千人針、爆弾のかけらなど、貴重なものを持ってきて触らせてくださいました。4年生は、夏休みの自学の為にと一生懸命メモを取っていました。

1年生は、わからない事を一つ一つ質問して、興味深々でした。

戦争を知らない私たちが、祖父母や両親、先人の皆さんから聞いた話を子ども達やその孫の代へと語り継いで行く重みを感じました。

お問い合わせ　☎44－0334　担当：松木

院内支所

にこにこ広場 いんない

「にこにこ広場 いんない」は、たくさんのおもちゃで遊びながら、子ども同士のふれあいやお母さん同士の交流、ちょっとした悩みや困り事等を気軽に相談出来る広場です。世代間交流会や季節のイベント、製作等の行事を行っています。天気の良い日は外で砂遊びや野菜・花の水やり、収穫等も出来ますよ(*^^*)みんなが笑顔になれるアットホームな広場です。どうぞ気軽に遊びに来てくださいね。詳しい開所日、イベント内容などは、宇佐市社会福祉協議会ホームページ「にこにこ広場いんない」をご確認ください。

お問い合わせ　☎42－5631　担当：三ヶ尻

うさ児童館

短冊づくり

うさ児童館では、地域のボランティア団体と協力して宇佐市七夕夏祭りで飾る短冊づくりを行いました。

これは宇佐市産の麦の茎を材料にした多面体のモビール「ヒンメリ」と言うそうで地元企業・ボランティア団体の協力のもと製作し願い事の短冊をつけて会場へ飾りました。
皆の願いが届くと良いですね!

お問い合わせ　☎34－6711　担当：久保・安部・元木

じぶんの町をよくするしくみ。

赤い羽根共同募金

令和５年10月１日から赤い羽根共同募金運動が始まります。昨年はみなさまのこころ温まるご支援により多額の募金実績をあげることができました。共同募金運動を通して、地域福祉の向上のためにご協力をいただき心からお礼申し上げます。今年も、共同募金運動にみなさまの変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

みなさんの身近なところで役立っています!!

高齢者のために
- 見守り、声かけ等　訪問活動
- 配食サービス
- 高齢者ふれあいサロンの運営費や貸出備品の整備
- 歳末見舞品　等

子どもたちのために
- クリスマス訪問

障がいのある方のために
- 特別支援教育相談室の開催

地域福祉推進のために
- 福祉関係団体助成
- ボランティア活動
- 災害ボランティアセンターの整備
- 車イスの整備
- ボランティア活動安全対策

寄付・ご寄贈ありがとうございます。

◎宇佐市認可保育園・認定こども園協議会給食研究会
（子ども食堂のために）35,547 円
◎ダイナム大分宇佐店　食料品、日用品等
（社会貢献活動のため、地域福祉のために）

ダイナム大分宇佐店の皆さん

フードドライブ ありがとうございます。

たくさんのご協力ありがとうございます。ご寄贈いただいた品は、当会を通じて生活にお困りの方々、子ども食堂等に配分させていただきます。

【フードドライブ対象】
＊賞味期限が２ヶ月以上あるもの ＊常温保存できるもの＊未開封のもの

県北地区 福祉のしごと就職フェア （参加無料・入退場自由）

福祉の仕事に関心がある人の就職活動を応援します。事業所の採用担当者から直接話を聞けるチャンスです。参加者にノベルティのプレゼントあり！

- 日　時：令和５年１０月１４日(土)１３時～１５時(受付１２時３０分から)
- 場　所：中津商工会館　３F大ホール　中津市殿町１３８３－1
- 内　容：事業所面談、各種相談(資格取得、職業訓練、職場体験等)
- 問合せ：大分県福祉人材センター(TEL０９７－５５２－７０００)

法人運営部門

本会の使命に沿うように各部門の事業遂行に必要な基盤整備を行うとともに、常に最新の情報発信に努めるとともに、広報や啓発活動を充実させる事で本会と住民の顔の見える関係づくり及び知名度の向上に努めました。

●理事会 2 回、評議員会 2 回、監事監査 1 回、評議員選任・解任委員会 1 回
●うさ福祉フェスタ 令和 4 年 11 月 23 日開催。式典、基調講演、フードドライブ
●広報啓発活動　社協だよりの発行 3 回、ホームページの適時更新
●共同募金運動　運営委員会 1 回　赤い羽根共同募金 6,454,351 円 歳末たすけあい募金 3,037,320 円
　高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、福祉育成、災害関係 に配分。
●一般寄付・香典返しによる寄付金　307 件 7,429,490 円 地域福祉活動に活用
●福祉バスの運行　新型コロナウイルス感染拡大予防対策として運行制限を設けた運行 年間 16 回

地域福祉部門

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け生活が困窮した世帯の支援や、活動の自粛や停止を余儀なくされ地域の繋がりが途絶えた事により、認知症などの健康不安を抱えた方に対する相談援助、また、途絶えた地域の繋がりを再構築するため健康と安全を考慮した新しい形での「高齢者ふれあいサロン」「認知症予防教室」「地域に根ざした介護予防教室」を展開していきました。さらに、このような状況下においても、高齢者や障がい者、認知症を患う方が住み慣れた地域でいつまでも生活できるように、「認知症地域支援推進員」や、「生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)」が、地域作りに努めました。加えて、判断能力が低下した方の権利を守り、地域で安全な生活がおくれるよう、「宇佐市成年後見支援センター」の運営および「法人後見事業」に取り組みました。

1. 地域福祉の総合推進事業

●地域コミュニティ組織「まちづくり協議会」への参加
●高齢者の「健康・生きがいづくり」の推進
　高齢者ふれあいサロン 104 カ所　地域に根ざした介護予防教室 106 教室、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ派遣延べ 377 名
　院内地区ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問
●認知症予防事業の推進　認知症予防教室 19 教室
●認知症地域支援推進員の活動
　相談件数 129 件、訪問支援 115 件、地域啓発 20 件、認知症サポーター養成講座 6 件 認知症プログラム検討会 7 回、情報共有会議 42 回、講演会 1 回、認知症カフェ 24 件 認知症サポート医との検討会議 12 回
　多職種連携研修会 2 回、認知症ボランティア養成 5 回
●認知症初期集中支援チームの活動　相談件数 19 件、訪問 193 件、啓発活動 11 回
●院内安心院地区食の自立支援事業の実施　院内 2,926 食、安心院 4,124 食

2. 障がい者福祉事業の推進

●特別支援教育相談室の開催 12 回
●障がい者移動支援事業（かけはし号の運行）の実施　運行回数 51 回 延利用者数 252 名

3. 子育て支援事業の推進

●うさ児童館の運営　開設日数 308 日、延べ利用者数 21,514 人
●安心院児童館の運営　開設日数 289 日、延べ利用者数 9,049 人
●うさっ子サポートセンター　活動件数 384 件
●院内子育て支援拠点　開設日数 143 日、延べ利用者数 719 人
●安心院子育て支援拠点　149 日、延べ利用者数 306 人
●子育てサロンの実施　相談件数 69 件
●放課後児童クラブ（津房地区）の支援　開設日数 253 日 延べ利用者数 2,138 人

4. 黄色い旗運動の推進　28 カ所 4,720 枚

5. 生活支援コーディネーターの活動

地域会合（ワークショップ）・会議等 146 回、介護予防教室等参加

6. 災害に強い地域づくりの推進

自然災害に対する備えとして、発災時に円滑に災害ボランティアセンターが設置できるように、行政及び大分県社協と連携を密に図り、迅速な対応についての協議を行いました。また、研修等に積極的に参加し、多くの職員が災害時に対応できる体制作りに努めました。

●宇佐市災害ボランティアネットワークの運営
　県災害ボランティアセンター運営スタッフ研修へ参加
●災害備蓄品の整備（共同募金活用事業）

7. ボランティア事業の推進

●ボランティア登録 50 団体 1,752 人、個人 16 名、相談依頼件数 10 件
●福祉教育の推進　市内小中学校で車いす・手話・点字等体験学習 19 回
●夏のボランティア体験月間の実施 参加者 44 名、協力施設 7 施設
●点字講習会の開催 20 回

8. 生活困窮者支援の充実

●生活困窮者自立相談支援事業の実施 相談件数 99 件

●生活福祉資金貸付制度の実施

9. 高齢者・障がい者の権利擁護事業の推進

●日常生活自立支援事業 利用者数 83 名、延べ活動件数 1,264 件

●宇佐市成年後見支援センターの運営 相談件数 49 件、申立相談件数 13 件

●法人後見事業の実施 受任件数 5 件

【在宅福祉部門】

関係法令を遵守し、利用者の満足度を常に意識した質の高いサービスの提供に努めました。また、利用者の安全を最大限配慮した新しい利用体制に柔軟に対応しサービスを提供を行いました。

1. 介護保険事業

●居宅介護支援事業の実施 ケアプラン作成 837 件

●訪問介護事業の実施 延べ利用者数 351 名、延べ訪問回数 2,966 回

●通所介護事業の実施

＊院内老人デイサービスセンター　開設日数 253 日、延べ利用者数 3,928 名

＊安心院老人デイサービスセンター　開設日数 253 日、延べ利用者数 3,755 名

2. 障がい者自立支援事業

●障がい者居宅介護・同行援護事業　延べ利用者数 66 名、延べ訪問回数 547 回

【院内圏域地域包括支援センター】

●総合相談・支援事業の推進

電話による相談 423 件、来所による相談 35 件、訪問による相談 190 件

●院内圏域地域包括ケア会議 11 回

【令和 4 年度決算の状況】

単位：円

事業活動による収入		事業活動による支出	
寄付金収入	7,429,490	人件費支出	184,999,542
経常経費補助金収入	27,500,000	事業費支出	38,608,557
共同募金配分金収入	7,392,320	事務費支出	25,434,688
受託金収入	148,388,278	貸付事業支出	1,730,000
貸付事業収入	1,455,000	共同募金配分金	7,392,320
事業収入	5,832,874	助成金支出	9,510,158
介護保険事業収入	68,979,127	その他の支出	69,300
障がい福祉サービス等事業収入	4,415,980		
助成金収入	4,014,168		
受取利息収入	4,625		
その他の収入	365,789		
計①	275,777,651	計②	267,744,565
		③＝①－②	8,033,086
施設整備等収入	1,061,330	固定資産取得支出	902,784
計④	1,061,330	計⑤	902,784
		⑥＝④－⑤	158,546
その他の活動による収入	2,900,316	その他の活動による支出	7,187,640
計⑦	2,900,316	計⑧	7,187,640
		⑨＝⑦－⑧	－4,287,324

当期末資金収支差額合計⑩＝③＋⑥＋⑨　3,904,308 円

前期末支払資金残高⑪　72,117,112 円

当期末支払資金残高⑫＝⑩＋⑪　76,021,420 円

第19回 うさ福祉フェスタ

USA Fukushi Festa

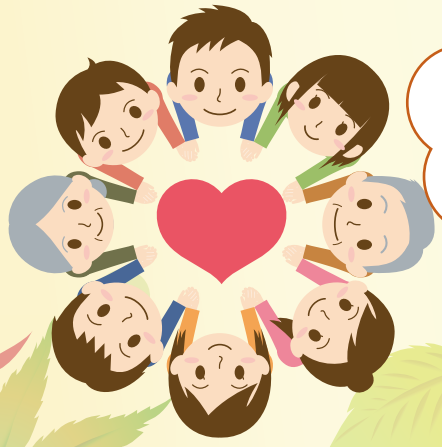
みんなで 広げよう 福祉の輪

社会福祉を取り巻く環境が、目まぐるしく変化しているなかで、住民自らあらゆる分野の活動に積極的に参加し、「誰もが安心して暮らせるようお互いに支え合い、共に生きる」という助けあいの精神の醸成をいっそう推進することが重要となります。
福祉フェスタは、「みんなで 広げよう 福祉の輪」をテーマに、市民の地域福祉に対する理解を高め、人と人とのふれあいの場を提供し、様々な人と接し、ふれあい・交流することで、人の輪の大切さに気づいていただくことを目的として開催するものです。

●日 時／令和 5 年 10 月 21 日(土) 9 時 00分～ 12 時00分

9:00　受付開始
9:30　開会・式典
10:10　ボランティア活動発表
10:50　基調講演「どうする！災害～今日からできる 5 つの備え～」
大分県社会福祉協議会 市民活動支援部
大分県災害ボランティア・福祉支援センター
副所長　森 美菜子 氏
12:00　閉　会

●場 所／宇佐市宇佐文化会館　ウサノピア 小ホール
宇佐市大字法鏡寺224
●主 催／宇佐市社会福祉協議会
●共 催／宇佐市ボランティア連絡協議会
●後 援／大分県共同募金会宇佐市共同募金委員会



参加無料
みなさまの
参加お待ちしてます

フードドライブ
の受付します！

発行 社会福祉法人 宇佐市社会福祉協議会 URL http://www.usa-shakyo.jp
本　所 〒879-0455 宇佐市大字閤437番地 TEL.33-0725 FAX.33-0970
院内支所 〒872-0301 宇佐市院内町御沓556番地の4 TEL.42-5631 FAX.42-5681
安心院支所 〒872-0521 宇佐市安心院町下毛2111番地の1 TEL.44-0334 FAX.44-1316
VOL.55
社会福祉協議会は、みなさまと共に社会福祉を推進する民間の社会福祉法人です。
この広報誌は共同募金配分金の一部を受けています。